

季刊 **みんな仲間**

NO.148

2011
1/1



〒610-0121 城陽市寺田垣内後69-1
TEL0774-55-5583

城陽障害児者生活労働センター“うおーく”
みんななかま作業所
メールアドレス mnakama@khaki.plala.or.jp

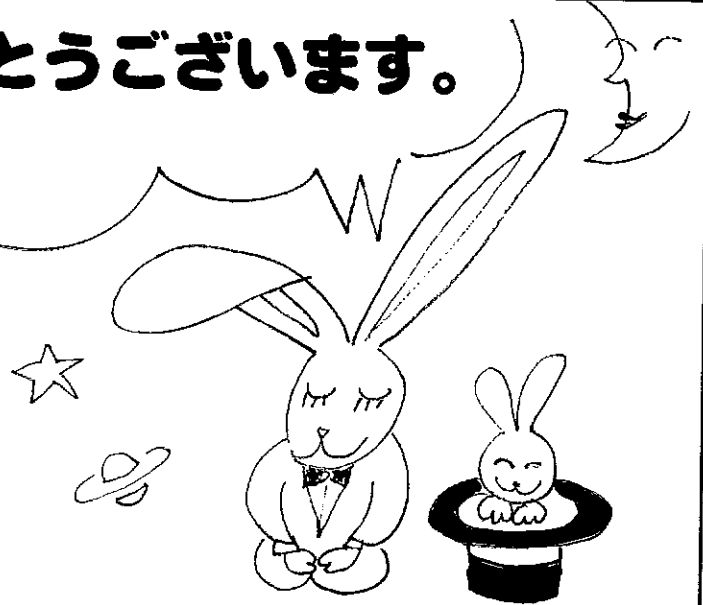
〒610-0102 城陽市久世下大谷6-291 TEL0774-56-0073 みんな仲間教室

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

平素より「みんななかま」の取り組み
に対し、あたたかいご支援とご理解を
賜り、誠にありがとうございます。

新卒者の就職率が50%台で低い状態
になっているとニュースや新聞等で報
道されています。大学生の就職活動は3
回生からスタートしますが、何十社と
面接をしても決まらなくて苦しむ学生
たち。就職できないのは「自分に責任
がある」と気持ちが自己否定になって
いく学生も少なくありません。更に就
職活動の長期化で学力の低下が新たな
懸念材料にもなっています。一方で障
害福祉での人手不足は引き続き深刻な
問題となっています。正規職員で雇用
したくてもできない資金力から、非正
規雇用という不安定雇用が障害福祉へ
の就職希望を遠ざけています。この悪
循環はいつまで続くのか、いつになっ
たら解決するのか、政治的支援は？不
安は積もるだけです。学生の就職率低
下は、次の担い手が育たないという決
定的なマイナス要素があります。もっ
と大きな視点からみると社会の発展に
もマイナス要素となります。「社会の
発展には新しい力が絶対に必要」と訴
えている新聞記事もありました。新し
い発想が職場を動かし社会を動かす力
になっている実践は数多く報道されて



います。この就職難を何としても打開
しないといけない、若い人たちが働き
たいと思える障害福祉の職場環境の改
善は急務、私たちが抱えている課題は
非常に大きいと実感しています。その
ためにも希薄化している人間関係の中
で、一人ひとりの人格が重視される障
害福祉の仕事が魅力あるものにしてい
くことが重要だと考えています。更に
その実践を地域の方々へ知らせ共有し、
地域をつくり社会をつくっていくこと
も重ねて大切な仕事だと思っています。
そのことが職場環境の改善に繋がって
いくことを願っています。

2011年、障害のある人・家族を真ん
中に人格を大切にする魅力ある実践を
築いくために日々努力をしていき、そ
んなみんななかまの実践が社会を一步
でも前進させる力になればと思ってい
ます。今年もどうぞよろしくお願い致
します。

明けまして おめでとうございます。今年も、amiグループをどうぞよろしく願いいたします。昨年の秋は、例年よりもたくさんの場所で通所者のみんなが頑張って作った自主製品を販売させていただく事ができました。ありがとうございました。秋・冬と寒い季節になるに連れて、フェルト製品がよく売れるようになっていきます。フェルト製品は、原毛からフェルトボールを作って加工しているのですが、とても単純で完成が一目でわかりにくい作業なので、ほとんどの通所者が苦手な作業です。しかし、「頑張って作ったらお給料になるな」「今日は〇〇個出来た」と言いながら励んだり、製品が売れた事を知り、「頑張って作ったやつやな」「うれしいな」と言いながら頑張っています。特にいもむしくんストラップは、みんななかまの定番商品となり、毎年きょうされんで取り組んでいる冬じたくのカタログ販売では、100個近い注文をいただいています。また、販売があった次の日などに、朝の会などで売上の報告を続けることで、通所者の気持ちが変わってきたように思います。頑張って作った製品が売れると、自分たちのお給料になるので、報告を聞く通所者の表情は本当に生き生きしています。昨年、一番売上が多かったのは、京都伊勢丹前での販売会でした。初めて参加させていただいたのですが、1日でamiグループの通所者が作った自主製品だけで、1万円を越える売上があり、みんなビックリという報告もありました。今までお給料をもらってもあまり興味を示さなかった通所者が、1ヶ月お疲れさま。と職員からお給料を受け取った時の表情がとても嬉しそうだったり、すぐにカバンに片付けたりと表現は様々ですが、みんながお給料日を楽しみにしてくれている事、お仕事の意識を持って取り組んでくれている事をとても嬉しく感じています。

みんななかまの自主製品を見かけられたときは、ぜひ手にとって見てみてください。よろしくお
願ひいたします。
文責:寺島

ながまたち み~んなのこのごろ

さくらんど

毎年9月頃から年末の向けて、製品を販売させていただける機会が多くなるので、今回のおたよりでは、さくらんどグループの一押し製品たちとみんなのお仕事の様子を紹介しま~す。

1つ目はキャンドルです。特にクリスマス時期恒例の「サンタくんと雪だるまちゃんキャンドル」作りに今は奮闘しています。年々パワーアップしていて、Yさん・Kさんが眠い目をこすりながら頑張ってくれています。

2つ目は今年度新製品のますこっとなです。古着をリメイクして作る小さなマスコットです。Mさん・Wさん・Mさんが主に取り組み、一つ一つ手縫いなので彼女たちの気分次第?でいろんな顔したますこっとなが生まれます。

3つ目は祝い箸です。昨年度から新製品として作り出しています。新聞のカラー版をちぎって季節のお花や、その年の干支(今回はうさぎだよ)を作っています。クオリティ抜群です。Nさん・Yさんが取り組み、ポンポンと貼ってくれています。

4つ目はこれまた毎年恒例のポチ袋です。Oさんがその日その日にイメージした絵を書いてくれています。終わりの会では「絵描いた」とも報告してくれます。是非お年玉にはOさんのポチ袋を。最後はカードケースです。NさんとNさんが主に取り組んでいます。Nさんは自ら「仕事したい」と意欲的で、オリジナルの道具を活用して針を引っぱってくれます。もう一人のNさんはこの仕事を「自分の仕事」と位置づけていて、日に日に集中力が増すくらい調子よく頑張ってくれています。

まだまだ紹介きれない製品があるのですが、今回はこのへんにしときます。みんなが日々心をこめて作っている製品なので、このおたよりが発行されるときにいっぱい売れていたらいい~のになと思います。

文責:中野

フレンドチーム

フレンドチームは大きく分けて、ほうせい、かみすき、はたけ、リサイクル、下請け、の作業に毎日取り組んでいます。その作業の様子を何回かに分けてご紹介したいと思います。

第2回目の今回は縫製作業を取り上げたいと思います。

縫製班での主なお仕事は、さをり織りの生地を使用しての自主製品作りです。('さをり織り'…たくさんの糸の中から自分好みの色を選んで縦に横に自由に手織りして生地を作る)さをり織りを始めた頃は手探り状態だった彼女たちも、これまでの経験を活かして、今では50センチ近くの幅の縦糸にさつと横糸を通し大きな生地もお手のものです。最近では、長さ160cm幅50センチほどの肩掛けを作成しました。定番のさをり生地を使用したシュシュは、約6mもある生地をみんなで力を合わせて織っています。

完成した生地は型紙に合わせて切り取り、製品作りをしていきます。針、ミシン、アイロンを使う作業のため安全に充分配慮して進めています。

最初「(縫うのが)難しい。」といていたFさん、一緒に進めるうちに手ごたえを感じたようで、仕事の様子をふっと見たとき「もうそこまでできたの!？」と驚くほどの上達ぶりで力を発揮していました。これまでブックカバー、ペンケース、ミトン(鍋つかみ)、お弁当袋などたくさんの製品をみんながアイデアを出し合って作ってきました。

注文を頂いた後、生地作りからスタートし製品をお渡しする機会も増えてきました。「ありがとう。」の言葉を聞いたときのみんなの顔は本当に嬉しそうです。またバザー販売も行なっていて、「みんなの製品を販売するよ。」と伝えると、「私参加したい。」と積極的に手を挙げてくれる人もたくさんいます(これは縫製班に限らずですが)。

さをり製品は一つ一つ手づくりなので、少しずつ違うかたちでとても暖かみがありますよ。バザーやイベントでさをり織り製品を見かけられたときは、ぜひ手にとって使い心地と手触りの良さをお確かめください。

文責:横山



ほっぷ

あけましておめでとうございます。本年も、“みんななかま”及び“ほっぷ”を、よろしく願います。

昨年、いつもの仕事とは一味違う取り組みをしました。それは、福祉ふれあいまつりでスイートポテトを作って販売したことです。近所のコミュニティーセンターの調理室をお借りして、数名の通所者と職員が、頼りになるボランティアさんにご指導いただきながら、一日がかりで仕上げたポテト。それをまつりで売ると、あっという間に完売。作った通所者が笑顔になる瞬間でした。ご購入いただいた方々、ありがとうございました。

さて、今年は兎年です。なんと、年男が“ほっぷ”内にもいるのです。Fさんは、昨年から「来年は年男や!」と何度も言って、兎年が来るのを楽しみにしていました。一回り年が離れた職員ともウサギ話に花を咲かせたり、同学年の早生まれの職員には「〇〇君は辰やな。」と言ったり…。干支の話、街の話、電車の話など、興味のあることがいっぱいFさん。Fさんは、野球の話も大好きです。「ほっぷの4番バッターはNさんやな」とよく言っています。ちなみに、エースはTさんだそうです。

ウサギのように飛び跳ねて(飛躍して)、大好きなタイガースが優勝して、いい一年になればいいですね。

(文責:浦田)



第21回春を呼ぶみんななかま大バザー

今年も大バザーの時期がやってきました

2011年3月21日(月・祝) 10:00~15:00 IN 文化パーク城陽で行います。

20回の区切りを越え、新たな一步を踏み出した、今年の大バザー。地域の皆様の支えがあったからこそ、一步一步、前に進むことができました。本当にありがとうございます。今年も、私たちを支えてくださっている皆様方に感謝を伝えていくことや、生活支援事業の更なる発展、充実を目指すことなどを目的に開催いたします。今回も、バザーが成功するように、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ボランティア協力をお願い

今年も前日準備、当日販売や片付けのボランティアのご協力をお願い致します。1日が無理でも、空いている時間(2時間でも)いつでも来て頂けると助かります。ご協力お願い致します。

前日 3月20日(日) 8:45~17:00まで

※この日は文化パークが閉館する22:00まで作業は続いていると思われま

す。17:00以降なら来られるという方も大歓迎です。

当日 3月21日(月・祝) 8:40~17:00まで

ボランティアに来て頂ける方や興味のある方は下記までご連絡ください。

うおーく TEL/FAX 0774-55-5583 (寺島)

仲間教室 TEL/FAX 0774-56-0073 (土居)



いつもアルミ缶 回収に

ご協力いただき
ありがとうございます。



みんな仲間教室では、アルミ缶・ペットボトル・牛乳パック・インクカートリッジをリサイクル回収させていただいています。いつもご協力いただいているリサイクル品は通所者が仕分けやプレス作業などをし、各リサイクル業者に引き取っていただいています。引き取っていただいたお金は通所者のお給料となり大切にに使わせていただいています。冬になり寒くなってアルミ缶の回収量が減ってきています。給料確保のため、再度地域のみなさまに回収の呼びかけをさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。申し訳ありませんがリサイクル品はうおーく(寺田垣内後→施設の前の青いカゴ)と仲間教室(久世大谷→門を開けてもらって、右側のカゴ)に回収場所を設置していますので、カゴに入れてください。お手数ですがアルミ缶、牛乳パック、ペットボトルは簡単に洗っていただけると有り難いです。インクカートリッジはキャノン、エプソンのみ回収しています。回収にご協力よろしくお願いいたします。

文責 西村

2011年
3月21日
祝日
10時～15時



THANK
YOU



8/26～11/25

☆ ボランティアにきてくださった方々 ☆
服部 俊子様 寄本 陽子様 古谷 八重子様
廣戸 和子様 中谷 恵子様 藤本 美代子様
高橋 良子様 布村 愛子様 横手 トヨ子様
田中 康子様 三木 正治様 越村 千恵子様
難波 律子様 大島 廣行様 森藤 美智子様
西出 秀子様 渡辺 岳様 近藤 美栄子様
林 幸江様 谷 房子様 宇野 美代子様
中嶋 清様 吉田 万三様 ポストレディー様
☆ 寄付して下さった方々 ☆
古谷 八重子様 白須様 藤本 美代子様
生協見学者の皆様 澤喜ハウス様

☆ 製品を置いてくださっているお店 ☆
NIPPON DINING DIVE様
Rencontre様 Ra Baum様

製品部会より

製品部会とは今年度から発足した部会で、仲間の給与保障やボーナスアップを目指して立ち上げました。主に販売販路の整理や拡大、販売時のディスプレイについて、製品の精度の向上やバリエーション拡大など、いろいろと工夫できるように話し合いをしています。今回は販売販路の拡大というところで、12月頃から「みんななかま」の製品を販売していただけるようになったお店があるので、その報告をしたいと思います。今回のおたよりの締め切りまでにOKを頂いているのは「NIPPON DINING DIVE」「Rencontre」「Ra Baum」の3店舗です。「NIPPON DINING DIVE」は城陽にある創作和食屋さんで、一品一品凝っていてとてもおいしいです。24号線沿いのサンクスの横にあります。「Rencontre」は城陽の寺田築留にあるパン屋さんです。パン好きの僕のお気に入りのパン屋さんでもあります。「Ra Baum」は日頃から改装などでお世話になっている「Ra Baum建築工房」が一緒に経営している雑貨屋さんです。場所は滋賀県大津市の湖岸道路沿いと少し遠いですが、とてもかわいい雑貨がたくさんあるので楽しく過ごせます。今回はこの3店舗の紹介をさせていただきましたが、まだまだいろんなお店に営業に行く予定をしています。少しでも多くの方に「みんななかま」の製品を見ていただけたらと思います。文責：中野

みんななかま後援会新規ご入会・ご更新のお知らせ

みんななかま後援会は、「みんななかま作業所」「みんな仲間教室」を財政的に支援してだけでなく「後援会まつり」なども開催し、地域に施設と地域をつなぐ役割も果たしていくために活動しています。施設法人に対する助言や各種の団体とのつながり作りなどもできればと思います。これからもぜひ「みんな仲間教室」「みんななかま作業所」を支援する「みんななかま後援会」に一人でも多くの方に入会していただけるようお願い致します。

個人1口1000円
団体1口3000円

何口でも歓迎いたします。

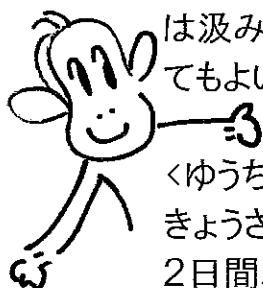
口座名義 みんななかま後援会
口座番号 01080-5-19224
住所 城陽市寺田垣内後69-1
電話 0774-55-5583



きょうされん全国大会IN福岡



猿回っておもしろそ〜。…ん?!猿回してきょうされんと関係ある!?きっと私
たちを応援しに来てくれはったんや〜といつものプラス思考の私たち。でも舞台に出
てきはったのは村崎太朗さんのみ。でもここからの1時間が本当に笑いあり、学ぶべきこ
とありのあつという間の時間でした。被差別部落に生まれた村崎さんが、ご自身が歩ん
でこられた半生から、『差別』の問題や『人権』の問題を語って下さいました。村崎さん
は被差別部落を'特別'にすることでも、'排除'するものでもなく、普通に語れる世の中で、
共に生きていくものだとおっしゃられました。私は今私たちが携わっている『障害』にも
通じることだと感じました。いつも人を楽しい気分にしてくださる村崎さんと次郎くん。こ
の2人の芸の中に多くの想いがあると知ったとき、その人自身がどんな道を歩んできた
のかを知るとは相手を理解しようとするときにとっても大切だと感じました。そのことは、
私たちが仲間と一緒に働いていく上でも大事だなと重なりました。言葉にならない言動
を見逃したり、はたまたすると'問題'として捉えてしまったり、伝えたいこと、本当の想い
は汲み取れない対応になってしまいます。共感できる人でありたいなと思いました。と
てもよい2日間を過ごさせていただきました。(文責:宮崎)



〈ゆうちゃんとの振り返り〉

きょうされん全国大会in福岡 に職員2人と仲間1人が行ってきました!!
2日間、仲間と一緒に「特別講演」・「利用者フォーラム」などに参加してきました。仲
間に感想を聞いてみると、「利用者フォーラムが楽しかった!」とのことでした。利用者
フォーラムでは、ミニ運動会をしました。福岡の名物を取り入れてのカード合わせ・たら
こ送り・タワー倒しなどをして全国からの参加者と楽しく関わったことが印象に残ったよう
でした。地元の迫力のある歌や踊りに圧倒されつつも楽しめました。
特別講演については、見たかった猿まわしを見れて嬉しそうでした。また、たくさんの人
の話聞いて難しかったけれど良い経験になり思い出になったようでした。
次の日、他の仲間たちに積極的にこの2日間のことを話していました。(文責:安岡)

タオルの
ご寄付を
お願いします!

みんな仲間教室ではホテルや旅館などでもらえる
薄手のタオル(新品)を募集しています。そのタオル
を仲間と一緒に縫いぞうきんとして販売します。売
り上げはもちろん仲間のお給料になります。また縫
製仕事は仲間が主体的にできるので続けて行きたい
良い仕事となっています。もしタオルが余っていま
したらよろしくお願いします。

文責:中野